

京都YMCA創立125周年記念事業



特別講演会

「病と社会的差別」

—日本のハンセン病対策の反省に立って—

講師 皮膚科医・ハンセン病専門医

尾崎元昭先生

京都大学医学部皮膚科非常勤講師

国立療養所長島愛生園非常勤（1969年から現在まで臨床に関わる。）

JICAの「ミャンマー中央部ハンセン病対策プロジェクト」に参加。

日本ハンセン病学会理事 キリスト者。

著書 『総説 現代ハンセン病医学』（監修 共著）、『隔ての海の岸辺で』
など。

京都YMCAのボランティアグループフーロカールと毎月行っている朝祷会参加者は、このたび創立125周年を記念して、聖書の記述にも取り上げられまた日本の歴史の中でも長らく差別の対象となっていたハンセン病について学びの機会を持つこととし、特別講演会を企画しました。

ハンセン病患者の入所施設である国立療養所長島愛生園で臨床医として関わられた尾崎元昭先生をお迎えし、日本のハンセン病患者の置かれていた処遇や社会的な差別について自ら見てこられた実体験に基づいたお話しいたします。多くの関心ある方の参加をお待ちしています。

入場無料

日時 2014年11月8日（土）15:00~17:00

会場 京都YMCA 三条本館 204号室

京都市中京区三条通柳馬場南東角

主催 公益財団法人京都YMCA

問合せ 京都YMCA (TEL 075-231-4388 mail kyoto@ymcajapan.org)

近代日本のハンセン病の歴史

- 1889（明治 22）年 フランス人のテストウイド神父が御殿場に私立の復生病院を設立。
- 1895（明治 28）年 イギリス人のハンナ・リデルが熊本に私立の回春病院を設立。
- 1907（明治 40）年 「癩予防に関する件」制定。「放浪癩」と呼ばれる患者や元患者を、ハンセン病療養所に入所させるための法律。ハンセン病に対する偏見拡大。
- 1909（明治 42）年 全国 5 か所で公立癩療養所開設。（入所者数は患者全体の 5%程度。）
- 1929（昭和 4）年 「無らい県運動」により「強制隔離によるハンセン病絶滅対策」が広まる。
- 1931（昭和 6）年 「癩予防法」制定。ハンセン病患者全員を対象。全国に国立療養所配置。
- 1943（昭和 18）年 アメリカでファジェット、プロミンの治らい効果を発表。
- 1948（昭和 23）年 「優生保護法」制定。対象にハンセン病が明文化される。
- 1950（昭和 25）年以降、DDS などの治療薬の効果で治癒した患者が徐々に増加。
- 1951（昭和 26）年 全国国立らい療養所患者協議会（全患協）が法の改正を政府に要求。
- 1953（昭和 28）年 「らい予防法」制定。「癩予防法」の「強制隔離」「懲戒検束権」などは残る。患者の働くことの禁止、入所者の外出禁止、社会復帰などを規定。この法の存在がハンセン病に対する偏見や差別を一層助長したと言われる。
- 1950 年代半ば～（昭和 30 年代～）治癒した人の社会復帰が進み、療養所内の生活保障が進展し、外出制限撤廃など、隔離政策の実質的消失が進行。
- 1996（平成 8）年 「らい予防法」廃止。廃止が遅れたことなどについて厚生大臣が謝罪。
- 1998（平成 10）年 熊本地裁に星塚敬愛園、菊池恵楓園の入所者ら 13 人、「らい予防法」違憲国家賠償請求訴訟を提起。
- 2001（平成 13）年 「らい予防法」違憲国家賠償請求訴訟で、熊本地裁は原告勝訴の判決。国は控訴せず。内閣総理大臣談話。衆参両院で謝罪決議。「ハンセン病療養所入所者等に対する補償金の支給等に関する法律」成立。和解に関する基本合意書締結。厚生労働大臣が各療養所を訪問し謝罪。
- 2002（平成 14）年 全国 50 の新聞紙上に厚生労働大臣名で謝罪広告掲載。その後、基本法の成立により、国立療養所の存続が法的に保障された。（厚生労働省のホームページ所載の関係文章に加筆。）

○京都YMCA フーロカールについて

京都YMCAのボランティアビューローの登録ボランティアグループにフーロカールというインドのハンセン病患者とその家族の住むコミュニティを支援しているグループがあります。フーロカールは1993年に京都YMCAがパートナーシップを結んでいるインドのランチ市のYMCAに行った京都YMCAの会員のメンバーを中心に結成されました。毎年、チャリティーコンサートを開催し益金をインドランチ市でハンセン病患者とその家族のコミュニティを継続支援しているランチYMCAに送りその活動をサポートしています。

○京都YMCA 朝禱会について

京都YMCAでは、毎月第3火曜日の午前7時から30分間京都YMCAの会員有志を中心に祈りの会をもっています。どなたでも参加できます。